

平成30年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領の 昨年度からの変更について（案）

変更方針

①教科に関する調査の教科に、国語、算数・数学に加えて理科を実施する。

理科は3年に一度程度実施しており、平成24年度（抽出調査）、平成27年度（悉皆調査）に引き続き3度目の実施

②中学校の英語予備調査の実施に伴い記載内容を追加する。

平成31年度の中学校調査において英語調査を実施することを見据え、当該調査を確実かつ円滑で効率的に実施するための体制構築を検証するため、抽出方式で英語予備調査を実施

(参考資料)

平成31年度全国学力・学習状況調査における中学校の英語調査実施に
向けた英語予備調査の実施のモデル

【調査実施期間】 5月7日(月)～5月31日(木)

【調査実施日】 調査実施期間のうち、調査対象校が実施できる1日

1時限目 (50分)	2時限目 (50分)	3時限目 (50分)	4時限目 (50分)
「読むこと」 「書くこと」 「聞くこと」 (45分)	「話すこと」 3学級 (1組、2組、 3組)	「話すこと」 3学級 (4組、5組、 6組)	「話すこと」 3学級 (7組、8組、 9組)

※「話すこと」を問う問題の所要時間は、生徒1人当たり10～15分程度(準備5～10分程度を含む。)とする。同一学級の生徒を一斉に調査でき、かつ調査対象学年の生徒全員が3単位時間以内で調査できるよう、調査に必要な資材数等の設計をすること。

○「生徒質問紙調査」は、「『読むこと』『書くこと』『聞くこと』を問う問題」及び「『話すこと』を問う問題」の実施後、解答用紙等の回収までの期間に実施し、実施時間は10分程度とする。